



須磨 名谷界隈の街路樹もあっといいう間に真っ赤に色づきました 2023. 11.



収穫に忙しい東播磨 加古川沿いの田園地帯には今年もうれしいコスモス畑
コスモス畑を渡る風に揺られるコスモスの上を送電線が里をつないで渡りゆく。
私の一番好きな秋のコスモス畑の風景です。

加古川西岸の田園地帯 志方の郷のコスモス畑で 2023.10.25.

秋を明るく楽しくしてくれるコスモス
花言葉は真心・謙虚・調和・美しい

ポストコロナ コスモスの秋 うれしいことも つらいことも みんなみんな包み込んで

秋が猛スピードで駆けてゆく！ 11月 お互い無理せず 今を元気

人恋しいコスモスの秋 11月は先に逝った多くの人たちに思いをはせ、自らを振り返る秋送り。

いつも頭にある悲惨な戦火の中にある「ウクライナ」「パレスチナ・ガザ」のこと

無関心ではいられぬ今 即刻停戦 平和の道が一日も早く開けますように



11月1日諸魂日 Kobeから「NO WAR」多くの人に思いをはせる

「ウクライナ・ガザの街の無差別破壊の惨状」。

尽きることのない殲滅戦に数多くの「命」が失われ、またぞろ分断。

核・人類破壊の危機も見え隠れ。

「NO WAR」「命は宝」の原点一致でテーブルにつけないものが

国際世論の高まりしか抑止の道はないという。

もう「他山の石」・大国任せでは許されぬ時。

「即刻停戦の旗」を広く世界に広げよう。

困難に直面している人たちに 即刻 救いの光が差し込みますように

即刻停戦 平和の道が一日も早く開けますように。

無関心ではいられぬ日本

大国の思惑を排して、救いの手を差し伸べる国際世論をさらに高めよう



■ 日本シリーズ 阪神の優勝 おめでとう。歓喜がこだまする嬉しい関西の秋に

■ 11月 深まりゆく秋 コスモスの秋 点描

■ 今月の神戸新聞コラム「正平調」ほか 気になるニュースより

収録1. 国際情勢は厳しい混乱の時代に 今月神戸新聞 朝刊コラム「正平調」他 気になった記事から転記

収録2. 文珍さんの落語的見聞録 「時間をかける旅が一番 リッチ」

収録3. 関西決戦の日本シリーズに関西は大盛り上がり 日本シリーズによせて これぞ野球!! そして関西人

11月 深まりゆく秋 コスモスの秋 点描 思いつくままに

街の街路樹が真っ赤になり、秋の風に揺れるコスモス コスモスの秋2023

本年 家内が喜寿・私が傘寿になるのを機会に 息子や娘が
家族みんな元気に暮らせることを祝う会を開いてくれました。

幸い元気で足も動くし、好奇心・気力あり。

健康でいること等々 感謝一杯です。

秋の夜長 和鉄の道の記録をたどり、日々の生きざまを思い浮かべることも。

もう自分たちの時代でないことを自覚しつつ、

毎日を前向いてと

11月 深まりゆく秋 口笛ふい〜て気を晴らす

God be with You!! You Raise Me Up !!

ありがとうございます

2023.11.10. From Kobe Mutsu Nakanishi



あつという間に 庭に真っ白な小菊「野路菊」が咲きだし、日没が美しい季節になりました

コロナがやっと収束して、夢膨らませたホストコロナの新時代

でも 今まで目にしたことがないことばかり。そんなことが一機にふきだしたコスモスの秋。

世界や日本そして地球規模で 良くも悪しくも世の中が一機に動き出しましたが、「日本が取り残されている」と感じる今日この頃。日本のみが成長路線を描けず、募る行き先不安。

なんといっても、地球の危機・戦渦・核戦争が我が身にも直接降りかかる恐ろしさ

でも 秋の自然と触れ合う心地よさと嬉しい出来事も色々あり。 なんとかならぬのか・・・と。コスモスの秋

11月の HP 更新作業に 集めた新聞・インターネットニュースなどを見ながら、思いつくままコスモスの秋をメモリました。

■ 11月 1日諸聖徒日(諸魂日) 日本的に言えば、キリスト教徒のお盆・墓参り。

11月になると毎年 先に逝った仲間や知人に思いを馳せつつ、この1年を振り返る「私の秋送り」。

庭の野路菊の花も咲きはじめたので、まもなく 丘全体が真っ白な野路菊の花に包まれる横尾山腹の丘に登り、周囲を眺めつつ、多くの人に思いをはせての一年のわが身を振り返る。

今年は11月になっても夏日が続き、野路菊の花はまだこれから。

11月1日諸魂日 Kobeから「NO WAR」 多くの人に思いをはせる

11月は先に逝った多くの人たちに思いをはせ、自らを振り返る私の秋送り

いつも頭にある悲惨な戦火の中にある「ウクライナ」「パレスチナ・ガザ」

無関心ではいられぬ今 即刻停戦 平和の道が一日も早く開けますように



この秋 悲惨な戦火の中にある「ウクライナ」「パレスチナ・ガザ」の事が頭から離れない。
どうすれば良いのだろうか……

即刻停戦 平和の道が一日も早く開けますように。無関心ではいられぬ日本
大国の思惑を排して、救いの手を差し伸べる国際世論をさらに高めよう。

○ ウクライナ・ガザの惨状 TVが映し出す映像に心が痛む。

まず 対峙国・仲介国そして全世界が「命は宝」の原点でテーブルにつかねば……

「分け隔てなく命を救う」を原点に現場に立ち続けて、対峙国の原点課題解決を図った緒方貞子さんの
勇気と沈着冷静な判断・行動力のすごさ。

ただただ「即時停戦」への願い。大国間の思惑に任せられぬ思いの中にいる。

■ 最近の新聞などを読んでいて感じること

【理念からの原点復帰 一致点を説いて回る論客はいないのかと】

◆ ロシアの侵略／ウクライナ & イスラエルの侵略／パレスチナ それぞれ言い分がある。

両方がテーブルにつく一致点はどこにあるのか…

我々だって、日頃耳にするのは西側の情報ばかり… これが正義といえるのか…

日本政治だって 数頼み・仲間頼みのその場対応・丸投げ政治 これて良いのか…

基本を忘れ、即物的な対応ばかりでは、永遠に一致点は見つからぬ。

原点に戻ってというが、緒方貞子さんの言葉が心に響く

「守らねばならぬ命」 いま こんなことを言うと叱られるかもしれないが、これが原点回帰の基本か…

話のすれ違い等々は 周りでもいつもこんな事が起っている。

何を大切にせねばならないのか… 疑心暗鬼ではいつまでたっても言葉遊びの域と。

今必要な一致点を説いて回る論客はいないのかと…

2023.11.1. from Kobe Mutsu Nakanishi

■ 関西の秋にうれしいニュース セの阪神・パのオリックスの阪神なんば線日本シリーズ

阪神の優勝 おめでとう。関西は大盛り上がり。歓喜がこだまする嬉しい関西の秋に



■ コスモスの秋 毎秋を明るくしてくれるコスモス

真っ青な空とともに見上げるコスモスが好き。 毎年出かける加古川西岸志方の郷。

各々の里が休耕田に作る自慢のコスモス畑巡り。どこまでも広がるピンクのコスモス畑。

秋の風に心地よく身を震わせるコスモスに出会えました。今年は亀岡市の夢コスモス園へにも
でも、田園地帯の里が作る休耕田のコスモス畑も新型コロナの4年を経て今年は2か所に減少。
みんな年を取り、世帯交代がむづかしい時代につづけてほしいなあ…と。



里人による休耕田を利用したコスモス畑の継続が
年々むづかしくなっているようですが、
私には ホームグラウンド東播磨の田園地帯で
風に揺れる素朴な普通のコスモス畑が一番
兵庫 播磨の秋の風物詩
来年も是非続けてほしいとエールを送ります。
2023.10.19. 志方の郷のコスモス畑で





■ 渡りの蝶「アサギマダラ」の渡りの道 今年もアサギマダラの飛来確認できました

須磨海岸に立ち並ぶ西六甲西端の山々に飛来する渡りの蝶「アサギマダラ」

今年も横尾山・旗振り山の藤袴の花の上で乱舞する姿が見られました。

また、TVを眺めていて、知ったのですが、信州 北アルプス 乗鞍岳の尾根を越える上高地乗鞍林道（スーパー林道）にある標高1662mの峠白樺峠では この時期 大空高く舞い上がった「鷹」が何羽も群れて南へ渡ってゆくのが見られ、カメラを持った多くの人が押し寄せるといふ。

ここにも渡りの道がある。それも 大空高く「鷹」が渡る。みたいなあ・・・と。



■ 仲間と一緒に続いてきた神戸ゆかりの落語家「桂福丸・そうば 二人会」

パルモア寄席・喜楽館と場所は移り、今は一般の人も多く、若手・新人の時から、次々と賞もと、新しい取り組みも次々と。

福丸さん「三十石」そうばさん藤沢周平作「踊る手」に挑戦。取も務める押しも押されぬ立派な中堅看板。

落語会の後の新開地一杯飲みも楽しみ

今も楽しい落語会。

また三宮で仲間営む串焼き店で続ける故郷仲間のホームグラウンド“栄太郎 元気かい” も楽しい。

今を元気に。



■ 年寄りのつぶやき “ぶつぶつぶつ”

何でもかんでも現実から目をそらし、その場しのぎ。行動せず、模様眺めの日本。

世界の場に出た政治家たちの姿には日本の方向が見えぬ。まるで参加するのに意義をもとめるかのよう
マスコミもまた「公器」を口にするが、あからさまな忖度が見え、目にする若者たちまで……

世界で 幼い子供たちまでもが、生きることに関心を持っているというのに……

TVなどに違和感を持つことが、多くなりました。

どこにそれをぶつけたらいいのか…… 何か変な日本。

世界の若者が日本で発見するリフレッシュ日本の数々。びっくりマナコで見る。

資源のない日本の成長が止まる中、高齢人口の急増・物価高・成長産業の衰退に見舞われている。

経験・手本のない時代に、日本の蓄積も底をつき、行き先が見えない。

インフラのほころび・日本の成長を支えてきた企業の衰退

それでもまだ「今までに経験してきたことがない……」

「自分が手を引けば……」の老獪言い訳の横行のほうかむり。

「……ねばならぬ」「……といわざるをえない」の無責任

かつて若者に託して高度成長の急成長を遂げた日本。

サッカー・野球ほかスポーツに見る若者の活躍が今、それを示しているとみる。

若者に「やってみなはれ」と託す時がきたと。

また 勝手な年寄りのぶつぶつ。

HP 更新作業を遅まきながら初めて、やっと11月更新ができました。

言葉足らずのページの羅列になってしまいましたが、よくも悪くも日本・世界そして地球環境までもが、今おかしくなっている。 日常の諸活動・動きばかりでなく、日本のインフラも点検・補修が十分できていないのか何かおかしい。今までと違う兆候が見え始めた。

大きな変化・混沌の時代の流れを反映してか 世の中も 次々とおかしなことが起こっている。

いま どうすればよいのか……

経験・スピードそして、マニュアル・数頼み等々だけではどうしようもないと。

今 そんな中で、自分の立ち位置は……と。

◎ 更新のファイルが出来上がった11月17日の神戸新聞コラム「正平調」に

今の国内世相をよく表しているなあ……と思った掲載がありましたので転記紹介。

「ちいさい秋、ちいさい秋」と口ず
さみながら目を凝らしても、秋は見
つからぬまま冬がやってこようとし
ている。大きな、大きな猛暑の夏が
恨めしい◆実りの秋まで消えてしま
ったわけではないものの、暑さの影響から
各地で農作物が不作に陥っている。原油高
が重なって野菜は高騰、一時は2倍近くま
ではね上がったものも。11月に入り沈静化
の兆しが出てきたが、ネギやタマネギは高
止まりしたままだ◆北の海では海水温が上
昇し、サケ漁に出たらブリが捕れたという
ニュースが伝えられる。今やサンマも高級
魚になりつつある。次なる庶民の味方はど
んな魚か◆統計では、物価の動きを差し引
いた実質賃金は18カ月連続のマイナスだ。
今年の5月に発表された川柳コンクールの
1位は「また値上げ 節約生活 もう音上
げ」。半年たっても一向に状況が変わらな
いのがつらい◆経済専門家によると、脱す
るには「賃金アップと円安の歯止めを同時
に起こす必要がある」とのこと。そんなウ
ルトラCのような政策が今の政権に打ち出
せるだろうか◆とにかく値上げに音を上げ
たまま、年は越したくないもの。先日、い
ただいた東北土産の包み紙に「福興」の2
文字を見つけた。縁起担ぎにならって、隣
に太く黒字で「福興」と書く。 2023.11.17

本当に今の政治に期待する声がほとんど聞かれない。

ふと頭によぎったのが、いま感じている政治家やマスコミに感じている違和感は

「中央・東京」と「地方」の構図で説明できるかも・・・ 「地方」は自分たちの領域ではないのかと。

時折 耳にする若者の会話にも同じことを感じる時がある。

もう今を謳歌しているだけで 思いやりも何もない。

そんなままで、今の日本は動いているのではないか・・・

よく言われた前高度成長時代の企業幹部と現場の構図が

今の日本社会にそっくりそのまま今も受け継がれ、進歩がない。 時代思考がストップのままなのか。

今の丸投げ政治などそのものではないか・・・と。

ぶつぶつ 何の足しにもなりません、元気に暮らしています。

HP 更新 頭が回らず。 集めたバラバラ資料を日寝返しつつ

結局 多くを神戸へ新聞等のきりぬきとインターネットニュースに頼ってしまいました。

勝手な言い草ばかりですが、どっかでふりかえってもらえれば・・・。

こっちも無責任化もしけず、お許しを

良くも悪くも時代が変わる激動の中にいる なんとかなるさの時代感覚とはちょっとちがうなあ・・・と。

変革の時代 日本・世界そして地球環境までも・・・

でも 野山や田園や里のゆったりした中に身を置く心地よさ コスモスの秋が過ぎてゆく。

まもなく師走 また1年。

物価の上昇等々先行きの見えぬ厳しさに度重なる線状降水帯発生の災害の激甚化等々厳しい日々

後ろから今を考える高齢の仲間入り 老化や病気と闘う先輩や仲間の今を聞くことも増え、

訃報に涙ぐむことも多くなりましたが、"元気に毎日を"と元気に動けることに感謝しつつ

自らを奮い立たせています。

いつも ありがとうございます。

仲間の元気は みんなの応援歌

God be with You!! & You Raise Me Up

お互い無理せず、今を元気に

2023.11.17. やっとHP月更新を終えて From Kobe Mutsu Nakanishi



【From Kobe 2023】11月 深まりゆく秋 コスモスの秋

コスモスの秋 点描 神戸便り 2023.11.15.

収録1. 国際情勢は厳しい混乱の時代に 今月神戸新聞 朝刊コラム「正平調」他 気になった記事から転記

収録2. 文珍さんの落語的見聞録 「時間をかける旅が一番 リッチ」

収録3. 関西決戦の日本シリーズに関西は大盛り上がり 日本シリーズによせて これぞ野球!! そして関西人

【From Kobe 2023 11月】

収録 1 国際情勢は厳しい混乱の時代に

今月神戸新聞 朝刊コラム「正平調」他 気になった記事から転記

- 何でもかんでも現状から目をそらし、行動せず、模様眺めの日本。
世界の場に出た政治家たちの姿に日本の方向は見えぬ、視点と判断のない今の日本の現状
世界の若者までがそれを指摘する。 世界の若者が日本で発見するリフレッシュ日本の数々。
井の中の蛙から、とびださねば・・・と。 ついばつづつです
資源のない日本が今、成長が止まる中、高齢人口の急増・物価高・成長産業の衰退に見舞われている。
経験・手本の無い時代に、日本の蓄積も底をつき、行き先が見えない。
インフラのほころび・日本の成長を支えてきた企業の衰退
「今までに経験してきたことがない・・・」「自分が手を引けば・・・」の老獪言いつの横行。
若者に託して高度成長の急成長を遂げた日本。 サッカー・野球ほかスポーツに見る若者の活躍に
日本の取るべき道が垣間見える。若者に「やってみなはれ」と託す時代がきた。
そんな思いが強い 11 月です 勝手なぶつづつ 皆様にはどう見えますでしょうか……
2023.11.10. From Kobe Mutsu Nakanishi

- 神戸新聞 11 月 1 日朝刊 文化面「汀にて」鷺田 清一 より転記
＜マジョリティとはだれか＞ 強者に追随 身を潜める者

文化

ダイバーシティ(多様性)という言葉がずいぶん定着してきた。自然の生態系においても、社会の構成においても、それを構成するメンバーが多様であればあるほど、その存続が確かなものとなる。多様性のそういう考えに正面から反対する人はおそろしく少ない。そしてこの認識とともに、マイノリティの存在の尊重というモラルも多くの人の感覚に定着してきている。

わたしたちは薄く、マイノリティを少数者、マジョリティを多数者というふうにイメージして、多数者の横暴から少数者の権利を擁護するべきだと考えている。この意味では移民や「在日」、障害者や生活困窮者など、この社会でさまざまな疎外や差別に晒されてきた人びとこそ、マイノリティであろう。しかしマジョリティ/マイノリティの区別が、社会における多数者と少数者の区別に事なるものなのか。

先日、ふと手に取った荒井裕樹の『隠書』でたのびのび「平凡社」にその問題についての明確な視点が示されていて、霧が晴れるような思いをした。

マジョリティ/マイノリティの区別は人口比率の多寡をいうのではない。たとえば主権、貴族政の社会で王や貴族は少数でも権力や財力は強大である。つまりマイノリティではない。女性と男性もほとんど同数なのに、社会のいかなる基準を決める上で優位な位置に立ち、より多くの機会に恵まれるのは圧倒的に男性である。

仕切る/仕切られる

このことからあきかになるのは、マジョリティ/マイノリティの区別が社会を仕切る側と仕切られる側の側との区別だということだ。荒井はそれを「社会の中で

居心地のよさの度合い」の差だという。社会のルールや仕組みを決める側がマジョリティとすれば、マジョリティについてこの社会の居心地の悪さうはすがない。社会は彼らの意向に沿って設計されているからである。だから社会の不具合への関心は薄く、その改善への問題提起も彼らからなされることは少ない。

これまで読んでお思い起こしたのは、過日テレビで中継された(旧)ジャニーズ事務所の会見だ。関連質問を封じられた記者たちが抗議の声を上げたとき(新)副社長がこの会見をテレビで観ている子ともいえるから、ルールは守りましようよと記者たちに諭すかのように呼びかけた場を統べていたのは、会場での圧倒的少数者つまりは訊かれる側だった。

この風景、じつは政治の中枢でいまや常態化しているものである。会見の時間制限も、事前に質問書の提出を義務つける手続きも、さらには入場券を出す報道機関など、すべてが「仕切る側」の都合で設計されている。仕切られる側は、大勢のなかに粉砕されるようにして強い側、権力をもつ側に就く。そして一部の人が善悪や非難の言葉をマイノリティに投げかけるのを、後ろのほうで、身を潜めて見て見ぬふりをする。そういう態度ではなかったか。

関心を持ちあう

要は、じぶんは安全な場所に引き取り、社会の不具合にかかわろうとしないのである。それは仕切る者もそれに追随する者もおなじである。

仕切っている者はたゞ謝罪せざるをえない場面へと追い詰められても「誤解を招いたすれば」とか「もし不快な思いをさせてしまったすれば」と前置きして、誤解したり過剰に反応したほうが悪いと言わねばならぬ。質問者側の問題へとすり替える。問われている問題そのものに入っていない点では、問題にかかわらないでいたい、関心をもちたがらないと思入る人もおなじである。

荒井も言っていたように、問題提起はこの社会のあり方が辛い、苦しい、不平等で悔しいという人々からしかされない。そういう人たちの異議申し立てがなかったら、今日いわれる性差別やパワハラメントも問題として浮上してはこなかったのだ。

ホロコースト生還者、エリ・ワイゼルの言葉が「愛の反対は憎しみではない。無関心だ。関心を持ちあうという相互のリスクベクトルがなくてはじめて民主主義は機能する。ちなみに「関心」(Interest)はラテン語のinteresse(入るとのかかわりのなかに在ること)に由来する。

◎ 次回来月 1 月に掲載予定です。

みぎわ

汀にて 鷺田清一

強者に追隨身を潜める者

わたしたちが 1945 年京都市生まれ。京都大学文学部土曜講座。元大阪大学経済学、前京都市立西京生学長。せんだいメディアアテンド創設者。専門は臨床哲学。『モノの迷宮』(リットル)学芸賞、『二階』(リットル)学芸賞、『力』(学芸賞)など著書多数。

機関ないしは記者の取捨選択も、内閣官房側の決定に賛同側が従わなければならない約束になっている。内閣官房側というたつた一人のひとが、その場のマジョリティとしていわば君臨しているわけだ。彼は事務方が準備した原稿を精読するばかりか、「差し控える」といういまや流行語ともなった回答拒否の言葉を連発する。総論としては「丁寧な説明」を認めているが、米軍兵士による暴行傷害事件が起きても、与野議員の発言が人権侵犯と認定されても、個別の案件について政府として所感を述べることは差し控える、「コメントする立場にない」といった言い回しで質問を封じる。

ではそうした不均衡な力関係の問題へどう向き合える。問われている問題そのものに入っていない点では、問題にかかわらないでいたい、関心をもちたがらないと思入る人もおなじである。

「知ったかぶりの友人」「息するよ
うにうそをつく」。利用が広がる一
方で、そんなふうに言い表されてい
るのは「生成AI」だ◆どんな質問
にも「分かりません」とは言わず、
ネット上のデータから答えを導き出す。珍
回答や間違いも何のその、常にこれが正解
と言わんばかり。「知ったかぶり」とは言
い得て妙◆最近、話題になったAI絡みの
ニュースといえば大阪府の「大ちゃん」。
犬のキャラクターで、AIを使ってお年寄
りの話し相手にと開発された。その大ちゃん
が大阪・関西万博について聞かれ、答え
た。「中止になってしもたんや」◆どんな
データを参考にしたのか分からないけれど
AIにそう言わしめる言葉がネット上を飛
び交っているのだろう。目玉の空飛ぶグル
マも海外パビリオンも雲行きが怪しくなっ
てきたのだから、仕方がないか◆さらに会
場建設費がどんどん膨れあがり、当初の2
倍近くに。大阪府と市、経済界は「やむな
し」と追加負担を受け入れたが、これで終
わりとは思えず◆バブルの「負の遺産」の
埋め立て地を万博とカジノで「真の遺産」
にという錬金術を思わせる計画だが、どう
なることか。AIの大ちゃんがぼやき漫才
の人生幸福師匠の決めゼリふを言う日は近
いかも。「責任者出てこい！」 2023.11.3

チャットAIのあやうさや恣意的な情報のバラマキ操作等々 高度情報化社会の闇がひそかに進行する。

「みんなで渡れば怖くない」と乗り遅れたらだめだとの話がインターネットを通して拡散。

どう整理すれば良いのか判らずのままにしているが、今日の神戸新聞のコラム正平調氏の話がよく解る。

google や旧 Face Book 等の横暴ぶりに規制強化が議論されているが、日本での現状は野放しに近い。

身近にもブラウーを使っただけの恣意的情報・偽情報そして闇サイト等々数々のおかしな事が流布されている。

EU ではインターネット閲覧者の情報を勝手に集め、恣意的な情報を送り付けることの規制強化に舵を切った。

日本ではすぐビジネスに乗り遅れるという論が恣意的に拡大するが、何とかならぬか・・・

TV までもが、肯定的な取り上げ方でルポと称してばらまきに参加と見える。

インターネットがますます便利になって 規制のベースが定まらぬまま悪の巣窟になって、日に日に犠牲者が闇の中に引き込まれる現状。危険予知でもよく言われる「まずフェイルセーフ安全側へ倒して」から議論することも大事。もうそんな段階にきているとみるが・・・。

この膨大な偽・恣意的情報を使う操作ビジネスの拡散に目を向けなければ、

高度通信社会の崩壊をもたらすと・・・。

2023.11.4. From Kobe Mutsu Nakanishi

■ 最近の新聞などを読んでいて感じること

【理念からの原点復帰 一致点を説いて回る論客はいないのかと】

最近の正平調氏の話を読み、今の混乱の世相に 一致点を説いて回る論客はいないのかと

◆ 伝統を守ることの重要性和革新 今を生きるためにどうすればいいのか・・・

◆ ロシアの侵略/ウクライナ & イスラエルの侵略/パレスチナ それぞれ言い分がある。
両方がテーブルにつく一致点はどこにあるのか...

我々だって、日頃耳にするのは西側の情報ばかり... これが正義といえるのか・・・

日本政治だって 数頼み・仲間頼みのその場対応・丸投げ政治 これて良いのか...

基本を忘れ、即物的な対応ばかりでは、永遠に一致点は見つからぬ。

原点に戻ってというが、緒方貞子さんの言葉が心に響く

「守らねばならぬ命」 いま こんなことを言うと叱られるかもしれないが、これが原点回帰の基本か・・・

話のすれ違い等々は 周りでもいつもこんな事が起っている。

何を大切にせねばならないのか... 疑心暗鬼ではいつまでたっても言葉遊びの域と。

今必要な一致点を説いて回る論客はいないのかと・・・

2023.11.1. from Kobe Mutsu Nakanishi

■ 2023.10.25. 神戸新聞「正平調」より転記

きょうもまた、世界の何処かで「愛国の華」が散っているのかもしれない

正平調 戦前のギリコのおまけに「肉弾三勇士像」というのがあった。1個5銭のキャラメルに引換券がつき、集めた枚数に応じておまけの景品と交換できた◆日本軍と中国軍が衝突した1932（昭和7）年の上海事変で日本兵3人が爆弾を抱えて敵に突入し、爆死した。軍は「覚悟の自爆」とたたえ、新聞が賛美して教科書にも載った。増子保志さんの「創られた戦争美談」（日本国際情報学会誌）に詳しい◆物語と精神論に酔い、命を軽んじる風潮はその後の神風特攻隊につながった。79年前のきょうは、海軍の戦闘機がフィリピンのレイテ沖で米艦隊に初めて体当たりした日。日本人が忘れてはいけない一日である◆今年は学徒出陣から80年の節目でもある。特攻も学徒出陣も敗色が濃厚になった末の決断だった。兵士と兵器の不足を若者の命で補おうとしたとはもはや正気ではない◆かつて特攻で大切な学友を亡くした作家は書いている。「悲痛なのは、その屍に彼の本質とはまったくかけ離れた『愛国の華』という冠詞がつけられたことだ」（新潮文庫「司馬遼太郎が考えたこと1」より）◆きょうもまた、世界のどこかで「愛国の華」が散っているのかもしれない。進歩のない人間に嫌気が差すが、それでもNOと言いつつ続けねば。 2023.10.25

■ 2023.10.18.神戸新聞「正平調」より転記

人口減少が止めがたい今 趣旨をそこなわぬよう、できる形を模索してもよいのではないか。
で祭りのバトン代々つないできた先人たちも、なくなるよりそちらの方を望むはずだ。

正平調 「あー!」。屋台が傾く。見つめる観衆からどよめきが起る。腹に響く太鼓の音が続く練り場は、氏子らで立すいの余地もない。地区ごとに色の違うシデ棒が生き物の群れのように動き、複数で練り合わせる屋台を後押しする◆風が冷たさを帯び始めた14、15日、播磨の秋祭りのハイライト「灘のけんか祭り」で知られる、松原八幡神社（姫路市白浜町）の秋季例大祭が催された◆新型コロナウイルス感染症の5類移行後、初のけんか祭り。週末でもあり、例年以上の老若男女が詰めかけた。「やっと普通に帰った。人が多い方が気合も入る」。締め込み姿の30代男性は、いとおしうに屋台を見つめた◆だが華やかなけんか祭りの一方、コロナ禍を経て郡部の一部の祭りはひっそりと姿を消しつつある。人が減り、数年ほどの中断が引き金になった◆たつの市新宮町平野地区の秋祭りは、これまで長らく子どもだけのちようちん行列が続けてきた。少子化のため今年は大人が加わると、図らずも半世紀ぶりに戦前からの伝統的な形に戻った◆人口減少は止めがたい。ならば祭りの趣旨を損なわぬよう、今できる形を模索してもいいのでは。祭りのバトンを代々つないできた先人たちもきつと、なくなるよりそちらの方を望むはずだ。 2023.10.18

神輿激突 響くごう音 姫路・灘のけんか祭り本宮



播磨を代表する祭りの一つで、「灘のけんか祭り」と呼ばれる松原八幡神社（姫路市白浜町）の秋季例大祭は15日、本宮を迎えた。秋晴れの下、3基の神輿が激しくぶつかり合う名物の「神輿合わせ」が披露され、練り場のあるお旅山を埋めた観衆が見入った。

（22.23面に写真グラフ）

旧灘七方村（地区）のうち、祭りを取り仕切る「年番」が神輿を担ぐ。午後2時過ぎ、本場地区の氏子とともに神輿がお旅山の練り場を走り、待ちわびた見物客から歓声が上がった。神輿は激しくぶつかり合うほど神意がなるとされる。「バキッ」「ドスン」。衝突のたびにう音が響き、屋根がきしむ、装飾が飛び散った。男たちの威勢のいいかけ声が、すり鉢状の舞台にたまし続けた。

他の6地区もお旅山に集まり、自慢の屋台を練り合わせた。（森下陽介）

3基の神輿を激しくぶつかり合う本場地区の氏子たち15日午後、姫路市白浜町撮影・笠原光恵

NEWSPRING 2023.10.18

収録2 文珍さんの落語的見聞録「時間をかける旅が一番 リッチ」

東海道新幹線は10月末でワゴンでの車内販売をやめるという。

スピード・効率ばかりを追求してきた日本の昨今 コロナも収まって旅行ブームという今、かつての旅を思い出して、旅にでたいなあ・・・ あそこもここもと。

でも 今 旅の形も眺める景色も随分 変わったのだろうなあ……

文珍さんの落語「さる後家」よく知らず。落語「さる後家」の中に、こんな会話が合ったかなあ…と。

秋の夜長 ゆっくりくつろぎながら 今一度 落語に耳を傾けるのもよし。

2023.10.20. Mutsu Nakanishi

文 化

先日、東京での落語会のために新幹線で移動中、今年の10月の末でJR東海の新大阪・東京間では、ワゴンでの車内販売をやめると知った。ナ、なんでと青天の霹靂だ！
あのカタ・イ、硬いアイスクリームが食べられなくなる。新幹線に乗る楽しみの一つなのだ。私は乗り鉄でも撮り鉄でもないアイス鉄、あのカチカチのアイスが軟らかくなるのを待てず、スプーンを突き刺した



落語的見聞録

桂文珍

2023年(令和5年)

10月19日

木曜日

神戸新聞社

〒650-8371 神戸市中央区東川崎町1-5-7

電話 (078) 362 7044

報道部 7040 文化部 7044

経済部 7094 販売局 7066

運動部 7095 事業局 7086

増 設 7047 広告局 7081

読者本局サービスセンター

078-362-7056

月～金 10～17時(土日祝休み)

神戸新聞

時間をかける旅が一番リッチ

り、手で温めたり、ハアア っていただければわかりま
と息をかけたたりして、食べすのこと。そこで私は
るのが楽しみなのだ。それ「モバイルで何ですの？」と
がなくなるなんて…車内を 尋ねたら、販売員さんはア
静かな環境にしたいのだそ イスのように硬く固まって
うな。それなら「今、三河 いた。これも時の流れか…
安城を時刻通りに通過し 昔、2階建ての新幹線に
た」だの「今、小田原を時 食堂車があったり、1階の
刻通りに…」とかいらんの ビュッフェで立つてカレー
と違うかい？ と言いたく を食べたりした時代が懐か
もなる。 しい。駅のホームで前もつ
これが最後か…と思いな てアイスを買うしかないか
がらワゴン販売のアイスを …これがリニアの時代に
買い、「これからアイス食 なければ味気ないだろうな
べたい時はどうしたらいい あ。
のです？」と聞いたところ、 私の知人は昔、大阪から
「モバイルオーダーをして 東京まで歩いて旅をした。
下さい。前のポケットのと 日本地図をポケットと眺めて
ころのQRコードを読み取 いて、うん、これくらいな
っていただければわかりま ら歩けるだろうと思つたど
す」のこと。そこで私は いう。歩いてみて初めてわ
「モバイルで何ですの？」と かったそうだが、宿賃はか
尋ねたら、販売員さんはア かる、靴は減るので買い替
イスのように硬く固まって える、食費は要る、数週間
下さい。前のポケットのと かけて東京に着いて、帰り
ころのQRコードを読み取 は新幹線でシューッと、戻
り、手で温めたり、ハアア っていただければわかりま
と息をかけたたりして、食べすのこと。そこで私は
るのが楽しみなのだ。それ「モバイルで何ですの？」と
がなくなるなんて…車内を 尋ねたら、販売員さんはア
静かな環境にしたいのだそ イスのように硬く固まって
うな。それなら「今、三河 いた。これも時の流れか…
安城を時刻通りに通過し 昔、2階建ての新幹線に
た」だの「今、小田原を時 食堂車があったり、1階の
刻通りに…」とかいらんの ビュッフェで立つてカレー
と違うかい？ と言いたく を食べたりした時代が懐か
もなる。 しい。駅のホームで前もつ
これが最後か…と思いな てアイスを買うしかないか
がらワゴン販売のアイスを …これがリニアの時代に
買い、「これからアイス食 なければ味気ないだろうな
べたい時はどうしたらいい あ。
のです？」と聞いたところ、 私の知人は昔、大阪から
「モバイルオーダーをして 東京まで歩いて旅をした。
下さい。前のポケットのと 日本地図をポケットと眺めて
ころのQRコードを読み取 いて、うん、これくらいな
っていただければわかりま ら歩けるだろうと思つたど
す」のこと。そこで私は いう。歩いてみて初めてわ
「モバイルで何ですの？」と かったそうだが、宿賃はか
尋ねたら、販売員さんはア かる、靴は減るので買い替
イスのように硬く固まって える、食費は要る、数週間
下さい。前のポケットのと かけて東京に着いて、帰り
ころのQRコードを読み取 は新幹線でシューッと、戻
り、手で温めたり、ハアア っていただければわかりま
と息をかけたたりして、食べすのこと。そこで私は
るのが楽しみなのだ。それ「モバイルで何ですの？」と
がなくなるなんて…車内を 尋ねたら、販売員さんはア
静かな環境にしたいのだそ イスのように硬く固まって
うな。それなら「今、三河 いた。これも時の流れか…
安城を時刻通りに通過し 昔、2階建ての新幹線に
た」だの「今、小田原を時 食堂車があったり、1階の
刻通りに…」とかいらんの ビュッフェで立つてカレー
と違うかい？ と言いたく を食べたりした時代が懐か
もなる。 しい。駅のホームで前もつ
これが最後か…と思いな てアイスを買うしかないか
がらワゴン販売のアイスを …これがリニアの時代に
買い、「これからアイス食 なければ味気ないだろうな
べたい時はどうしたらいい あ。
のです？」と聞いたところ、 私の知人は昔、大阪から
「モバイルオーダーをして 東京まで歩いて旅をした。
下さい。前のポケットのと 日本地図をポケットと眺めて
ころのQRコードを読み取 いて、うん、これくらいな
っていただければわかりま ら歩けるだろうと思つたど
す」のこと。そこで私は いう。歩いてみて初めてわ
「モバイルで何ですの？」と かったそうだが、宿賃はか
尋ねたら、販売員さんはア かる、靴は減るので買い替
イスのように硬く固まって える、食費は要る、数週間
下さい。前のポケットのと かけて東京に着いて、帰り
ころのQRコードを読み取 は新幹線でシューッと、戻

次回11月16日

【From Kobe 2023 11月】

収録3. 関西決戦の日本シリーズに関西は大盛り上がり
日本シリーズに寄せて これぞ野球! そして関西人

コロナ禍が一段落して、ポストコロナの厳しい時代の秋にうれしいニュース

阪神対オリックス 関西決戦の日本シリーズ

阪神なんば線シリーズ出 関西では大盛り上がり

阪神優勝おめでとう!! 若者たちの躍動に元気をもらおう



阪神優勝おめでとう

故郷 阪神尼崎の商店街也大盛り上がり。
夜遅くになっても LINE は仲間のメールが飛び交いました。
尼崎の仲間から「阪神で盛り上がってごめん」とのメール。
「阪神が勝ってもええよ。」
山本を笑顔でアメリカへ送り出せる。ありがとう」と返信。
私もそうですが、オリックスファンのほか みんな隠れ阪神。
「神戸の凱旋パレードには 阪神のも オリックスのも
どっちも行くぞ!!」と。うれしい関西の秋です

38年 待ちに待った



日本シリーズに寄せて これぞ野球 そして関西人と

神戸新聞コラム 正平調より 2023.11.7. Mutsu Nakanishi

◎2023.10.28. 日本シリーズ開幕の日の神戸新聞コラム「正平調」

優勝パレードで日本一の横断幕を掲げているのはどっち？ どちらであっても大歓迎。

神戸新聞発言欄に掲載された81歳の男性の投書に「子どもの頃からの阪神ファンだが、オリックスが勝っても『まあ、いいか』という気持ちだ」という81歳男性の投書が載っていた。

逆のパターンも含め、これがおおよそのファン心理と思いたい。

正平調

さぞ、ヤキモキしとだろう。プロ野球の阪神とオリックスの優勝パレードを11月23日あたりに実施すると先月に決めていた兵庫―大阪府、経済界のみなさんのことだ。もし両チームが、いや片方でもクライマックスシリーズで負けていたら…◆神戸のフラワーロードと大阪の御堂筋で迎えるファンはどんな顔をすればいいのやら。そんな杞憂をあっさり吹き飛ばして、両チームがきょう日本シリーズで激突する◆関西対決は59年ぶり2回目、前回は最初の東京オリンピックの年というから、歴史的な出来事といつていい。叶うことなら第7戦まで手に汗握る好ゲームを期待したい◆59年前、阪神にはリーグ最多の29勝を挙げたバッキー、22勝の村山実という大投手がいた。対する南海には「和製ベーブ」、野村克也がいた。今年の両チームに絶対的なスターはいないが、それがいい。監督の名采配が選手の力を存分に引き出している◆本紙発言欄に「子どもの頃からの阪神ファンだが、オリックスが勝っても『まあ、いいか』という気持ちだ」という81歳男性の投書が載っていた。逆のパターンも含め、これがおおよそのファン心理と思いたい◆来月のパレードで日本一の横断幕を掲げているのはどっち？ どちらであっても、大歓迎。

2023.10.28

今回ばかりは関西はみんな同じ気持ちやなあ... ふむ ふむ ふむと。

それにしても今年の日本シリーズ 甲子園の阪神の大応援団。すごすぎた...

また、もう忘れかけていた阪神村山実さん そしてバッキー の名が出てきて、どっちも懐かしいなあ...と。

◎2023.11.6. 阪神が日本シリーズ 優勝を決めた後の11.10.の神戸新聞朝刊コラム「正平調」

遠くスタンドに向けて 放物線を描く打球は本当に美しい。

いろんな人の思いを乗せたボールが9回、高々と舞い上がる。これぞ野球

正平調

こよなく野球を愛し、野球を題材に多くの作品を手がけた作家の赤瀬川隼さんが書いている。「野球は球技の中で唯一、球がいくら高く飛んでもかまわない開放的なスポーツである」◆遠くスタンドに向けて放物線を描く打球は本当に美しい。ナイターならカクテル光線にボールが浮かび上がり、緑の芝生を越えてぐんぐん伸びていく。そして球場中の視線がボールの行方にくぎ付けになる◆日本シリーズで阪神とオリックスが好ゲームを繰り広げていた最中、米大リーグでは一足先にレンジャーズが初制覇を果たした。試合を決定づけたのは、九回に飛び出した主力打者のホームランだ◆阪神は38年ぶりの日本一に輝いたが、こちらはチーム創設から63年目で初のチャンピオンである。この間、本拠地を東部ワシントンからテキサス州アーリントンへと移す。リーグ優勝こそあったものの、そこから先が遠かった◆今年のワールドシリーズは「リバウンドシリーズ」と報じられる。2年前、ともにシーズン100敗を喫したチームが勝ち上がった。リバウンドには「立ち直り」の意味がある◆63年目の初優勝、100敗からの立て直し。ファンに選手、いろんな人たちの思いを乗せたボールが9回、高々と舞い上がる。これぞ、野球。

2023.11.10

日本シリーズ第7戦 9回裏 大量リードされたオリックスの攻撃

いろんな人の思いを乗せたボールが9回、高々と舞い上がる。

一つは オリックス 頓宮のホームランの打球が舞い上がり そして最終打者杉本のレフトへの打球が阪神 ノイジーのグラブに収まった。目にはグラブに収まる打球の残像が残る。 ああ終わったと。

阪神 優勝おめでとう 満身創痍の中で戦ったオリックス よく頑張った。 関西にうれしい秋

今回の日本シリーズもまた、若者たちが躍動 今の日本に必要なのはこの若者のパワーだとつくづく。

2023.11.10.From Kobe Mutsu Nakanishi